

# 新報

島根県教育庁  
隠岐教育事務所  
隠岐の島町港塩口24  
電話2-9772

## 隠岐の島町の教育活動

隠岐の島町教育委員会が取り組んでいる教育活動の様子を紹介します。

### 【学校教育×社会教育】

#### 多世代対話型交流学習事業

##### 『つながらあや』

##### in 隠岐水産高校

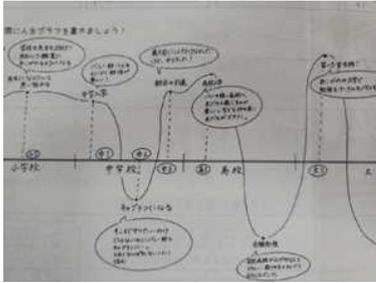
「地域をもっと盛り上げていきたい」「わしには夢がある」「子供たちのために何かできないかな」

そんな熱い思いを持つている大人が、町にはたくさんおられます。そんな大人と子供の出会いの場、それが『つながらあや』です。

本町では三回目となる本イベントが、十一月十一日(木)、隠岐水産高校で行われ、高校生二十三名、専攻科二年生八名、町内の大人三十一名が参加しました。

このイベントは、大人と子供が一对一での対話を通して、互いの人生観を見つめまです。そして、これまでの自分自身を振り返り、将来の生活や仕事、さらにはこれからの生き方について、より具体的に考える機会にしていくものです。

対話は、事前に書いた「I F E LOG(自分自身のこれまでの人生をグラフ化したもの)左写真」を使って行います。



相手のことを知らなかった二人が、これまで悩んでいた

ことや今の自分のこと、また人生観などについて語り合います。時間が経つにつれ、身乗り出して相手の話を聞いたり、質問したり、自然と笑顔になったり、そしてぼろっと涙を流したりする姿まで見られました。自分専属の応援団に出会えたよううれしさや心強さを感じた子供や大人もいたようです。



子供たちは、学校という場で多くの友達や先生方と出会い、その貴重な出会いを通して様々なことを学びます。さらにこのような地域の大人との出会いは、子供たちのこれからの生き方をさらに広げ、深めるものにつながると考えています。

今後も教育委員会として、学校教育と社会教育がしっかかり手を取り合い、学校・家庭・地域が一体となり、子供たちの「生きる力」を育む取組を進展させていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。(参加者の感想から)

生徒・普通、大人の人生の話を聞ける機会がないので、とてもいい経験になりました。話せてよかったです。今回のつながらあやで、大人ととても楽しく話すことができました。改めて、地元の人たちの温かさを知りました。大人・生徒さんも生き生きと話してくれて、そのことが嬉しくて、自分自身の肯定感も上がりました。

島外からの生徒が、どんな気持ちで来ているのかよく分かりました。「来てよかった」と思える隠岐にしたいといけな

## 二学期「学校支援計画」をふり返って

二学期も管内の各学校には、学校訪問等で大変お世話になりました。管内ほとんど小中学校を訪問しました。学校が活性化するには、組織的な取組を機能させる必要がある。

組織を構成し、動かすのは一人一人の先生方。そのような考えから、「学校支援計画」に組織的な取組の推進役を担う担当者への支援を位置付けています。訪問の際には、管理職との面談、研究主任との面談を共に設定していただきました。

また、管内研究主任会を二回実施しました。研究主任同士が、

「授業者の思いや考えに寄り添った事前の関わり方は」「先生方の『○○したい』という思いが高まるような研究になるには」「みんなが自分事として語り合える研究協議にするに

は」という視点を持ち、熱心に情報交換したり協議したりしました。教員は専門職です。しかし、一人では大事な専門性を向上させることはできません。蝶つがいのように、子供を間において同僚と語り合うことで互いの専門性は磨かれていきます。専門家として学び合える同僚性を学校内に築くことが、何よりも大事だと考えます。

管内の研究主任のみなさんは、同僚性を大事に捉え、校内研究を組織的に進めていくよう努めておられました。何より、学校訪問を通して、先生方や子供たちの素敵な姿にたくさん出会ったことができたことを感謝いたします。

子供たちが安心して、「のびのびいきいき」と学習に向かう姿が、さらに増えることを願っています。二学期も、大変お世話になりました。どうございました。(文責 森)